

事例 29 林道等の路網計画に係る研修

(森林技術総合研修所)



- ・山梨県富士吉田市 民有林(山梨県有林)
- ・現地実習の様子
(令和6(2024)年10月)

- ・東京都八王子市 森林技術総合研修所
- ・路網計画の発表と討議の様子
(令和6(2024)年10月)

森林技術総合研修所では、令和6(2024)年度において72コース(研修生延べ2,080名)の研修を実施し、森林・林業・木材産業行政を担う様々な分野の技術者の育成に取り組みました。

このうち、森林の整備や管理に欠かすことのできない路網の整備に関して、講義や実習、演習などの形式で10コース(研修生延べ225名)を実施しています。

中でも、役割に応じた路網配置や地形・地質を考慮した線形選択等の高度な知識と技術を要する林道路網計画の作成に関する研修には、現地での踏査も含め5日間にわたって17名の研修生が参加しました。近年では、災害の激甚化や走行車両の大型化等への対応が求められており、研修生は実習やグループ討議等を通じて、路網の強靱化・長寿命化等を踏まえた路網計画に係る知見を深めていました。

同研修所では、今後とも様々な行政課題に対応して研修内容の充実等を図っていきます。